

【 感 謝 】

イランに2週間滞在している間、選手といろんなことを話す時間がありました。その中で一番何が現在のろう者活動で必要か、不足しているかと選手に聞きしましたら、①活動費用不足②認知不足のこの2つの意見が多数でできました。この2つを解消する為に何を行ってあげばいいか考えておりましたがなかなかいい考えがでてこない状態が続いていました。昨年12月終わりごろに開催されましたある勉強会に参加させて頂いた時にクラウドファンディングを知り、その瞬間に次回の合宿活動費用不足が解消されるのではないかと思いますすぐに動き出しました。クラウドファンディングとは、ある「志」を持った人や団体に対する資金を、インターネットを通じて多数の支援者から資金（支援金）を集め実現する手法で新しい資金調達の手段として注目されており、世界中で500以上のクラウドファンディングサービスが存在しているそうです。いままでと同じ内容で合宿を行うのでしたら強化はできても認知不足のほうは変わりません。そこで同じ会場にいろんなチームに来てもらいましたら、隣で行われています試合や練習をみてもらえますし、交流もできれば一人でもろう者のサッカーのことを知ってもらい認知度があがると思い「第1回】DFAフェスティバル2015」を企画しましたが、最初はどのように動いてあげばいいのかわからない状態でした。しかし人のつながりで、地元の佐用町から様々なご支援・ご協力を頂き大会を盛り上げてくださり、大会参加費の一部を活動の支援金とさせて頂きたく趣旨でチーム募集させて頂きましたら子供から大人までの55チームが賛同し集まってくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。今回のこういった活動を行うにあたり応援してくださる方々がたくさんいらっしゃいますが批判を受けることもあります。何もなければ批判は受けなくて済むのですが現状は何も変わらないと思います。どれだけ影響があるかやってみないとわかりませんが、今回できることはまずスタッフ、選手自身が率先して動いて自分に何かをしてもらうのを待つばかりではなくできることをやっけていきクラウドファンディングを成功させる為に1人が50名の支援者を探すよりも、50人が協力して各々が1人の支援者を見つけることのほうがいいと思いませんか。お金のことは頼みにくい、なんでサッカーするだけなのに他の事をしなくてはいけないのかという考え方よりも、将来の為にいまよりも少しでもいい環境を作っていく、応援してくだる人を増やしていくことも代表選手の活動として大事な役割の一つだと考えて行動してほしいと思っております。朝の散歩時の清掃活動やキッズサッカークリニックも継続して行いますし子供の試合の審判をするのも、ろう者とふれあうことの少ない子どもに少しでも知ってもらう為ですし、こういったことの積み重ねが選手自身、協会への支援・力となっていきますので、協会やろう者の子どもたちの将来のために自分に何ができるかを今一度考えるいい機会になればと思っております。